

■第31回ふるさとまちなみデザインセミナー

『土地を切り捨てないコンパクト化のあり方』

日時：令和2年1月30日（木） 14：00～16：00

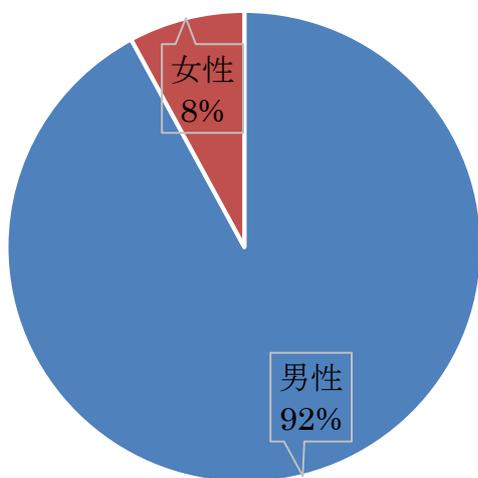
場所：山梨県立図書館 多目的ホール

参加者：105名

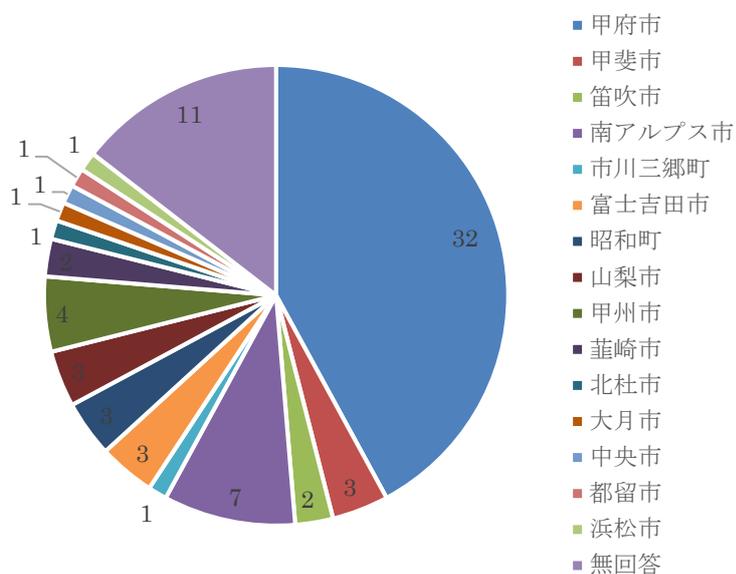
○参加者アンケート結果（抜粋）

アンケート回収数：76（参加者に対する回答率72%）

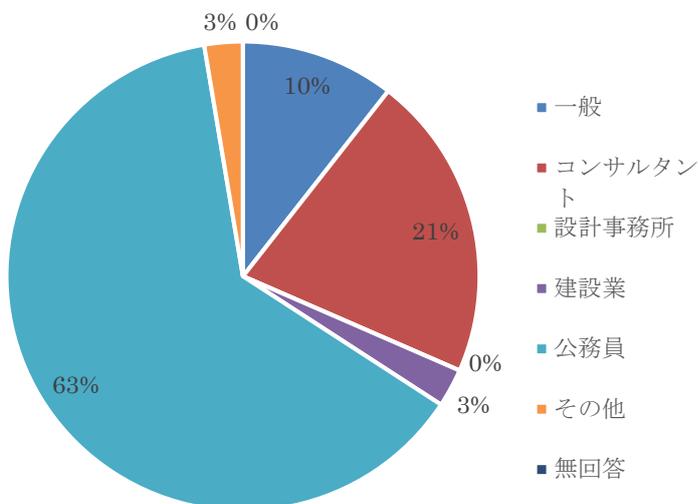
① 性別



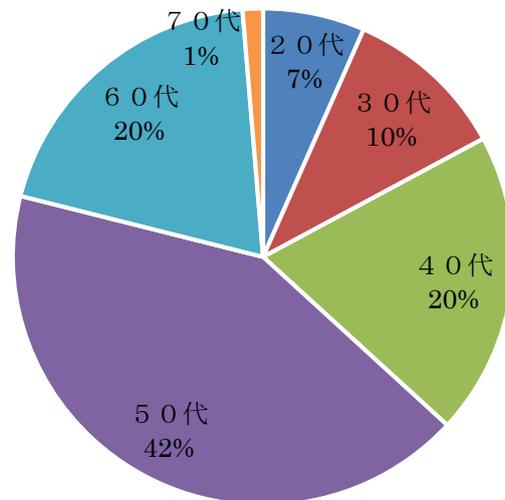
③ お住まい



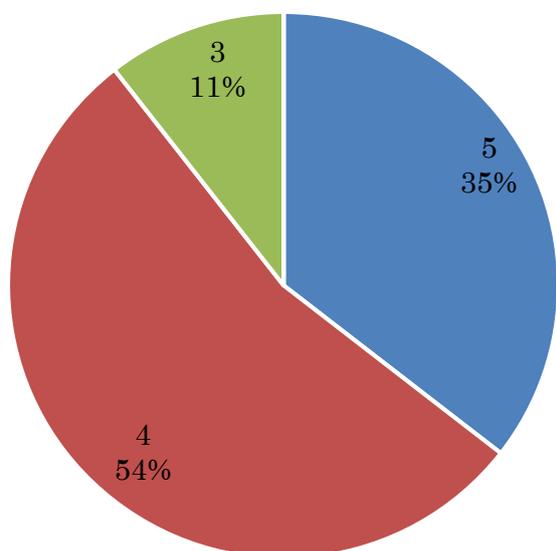
② 職業



④ 年齢



⑤セミナーに参加して良かったと思うか。(良かった 5-4-3-2-1 悪かった)

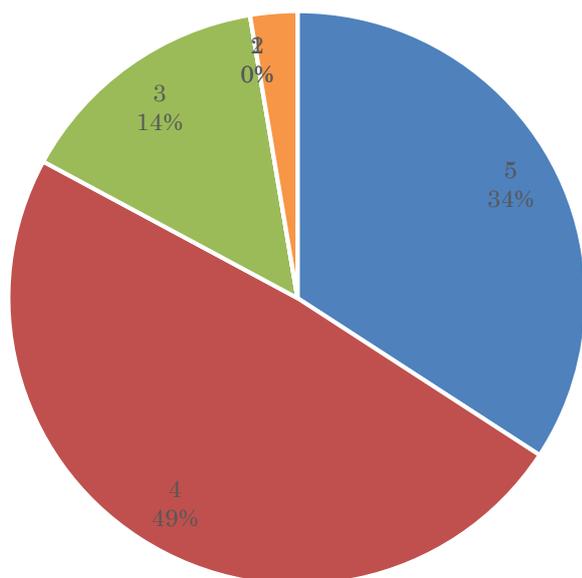


○主な理由

- ・空き地の集約方法(活用)がまちづくりの参考となりました。
- ・空き地の利用について具体的な活用方法、また、将来のシュミレーションまでして、行政と民間と協力して計画して空き地、空き家をなくしていくように働きかけていく手法を聞くことができた
- ・これから空き家が増えていく中で、いかに核となるものを決め、コンパクトなまちづくりをしていくか。人それぞれ考えは違うが、一つの参考となった。
- ・広く豊かな土地利用をポジティブに考えるきっかけとするという考え方の発見ができた。

⑥本セミナーはまちづくりの参考になると思うか。

(参考になる 5-4-3-2-1 ならない)



⑦まちづくり（都市計画）について思うこと

○主な回答

- ・コンパクトシティ造りを進めて欲しい。公共交通（バス・電車）の整備も含め、都市計画を進めて欲しい。
- ・それぞれの地域の関わる専門の人や大学などが関わるネットワークづくりをすることが必要だと思う。
- ・これからはコンパクトシティエリアをしっかりと設定し、それぞれのエリアの特色をもって魅力あるまちづくりを目指してもらいたい。
- ・線引き区域と非線引き区域のまちづくりを並列的に取り組んでいるように感じる。やはり線引き区域のまちづくりについては別に区分し検討を進めるべきである。
- ・山梨県は甲府盆地という1つのまちであると思っている。市町村ごとのまちづくりではなく、県全体でまちづくりを考える必要がある。
- ・地域によってまちづくりの方法は、自然、人、社会、いろいろな要因で異なるので具体的に考えると時間がかかりそう。
- ・土木・建築だけでなく、多分野にわたって計画をたてなければならない難しさは感じている。この先数十年の山梨を予想（人口分布、労働分布、税収 etc）しながら、できる形を考えていかなければならないと考えている。

⑧取り上げて欲しいテーマ

○主な意見

- ・5G化と都市計画について
- ・コンパクト化での交通のあり方（道路）について
- ・人口減少対策を考えた都市計画等について（リニア駅関連など）
- ・調整区域内に立地するリニア山梨県駅周辺の整備について
- ・スマートシティについて
- ・アンチコンパクトシティ化について
- ・地方都市の再生（中心市街地）、町並み保存・再生等について
- ・浸水に強い街について
- ・都市構造とモビリティ等について
- ・公共用地の有効な利活用（民間活動を導入した事例など）について
- ・グリーンインフラの有効活用などについて